

役立つ!

滋賀県の中小企業のための広報誌

25th Anniversary

滋賀でチャレンジし続ける
中小企業の皆さまに
読んで楽しく、身近で役に立つ
情報をお届けします。



Uchide no
Koduchi

Vol.

76

令和6年11月発行

UCHI KOCHI



元気企業訪問

- 2P フリーバンクキャピタル株式会社
- 4P 株式会社 KakuKaku/合同会社 mitei
- 6P 三和産業株式会社

起業家魂

- 8P 日中夢楽観光株式会社

プラザゼミナール

- 10P 「両利きの経営」とは?

しがのミカタ

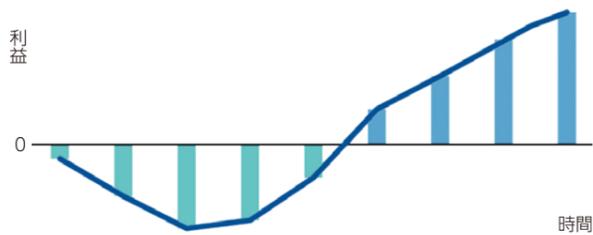
- 12P 滋賀県信用保証協会

トピックス&インフォメーション

- 14P 競争的外部研究開発資金の獲得支援
(Go-Tech 事業 他)
北部地域振興
- 16P イベント・セミナー案内



公益財団法人
滋賀県産業支援プラザ



経営コンサル 事業計画づくり 社内管理体制確立 売上増加の施策提案	ネットワークを 駆使した支援 顧客紹介 提携先紹介 人材紹介	追加出資	上場準備の支援 上場関係先の紹介 監査法人 証券会社 信託銀行
---	--	-------------	--

投資先企業の成長段階に応じたさまざまな支援

— 産業支援プラザとの
関わりは？
2024年4月に住友
不動産と連携して東京・
神田で起業家を支援する



彦根インキュベーション施設「善」

— 課題に感じていることは？
被災企業の復興事業を辞し
たあと、2013年に東京で現
在の会社を起業し、まずはベン
チャー企業のコンサルティングか
らスタートしました。
地方の起業家の相談を受ける
なかで課題となったのが「エフ
アイ・ファイナンス（株式資本
による資金調達）」について相談
できる専門家が周囲にあまりい
ないことです。地方で企業の資
金を担うのは銀行や信用金庫
が大半ですが、当時エフアイ
について知識のある人は少なく、
上場やM&A、事業承継におい
て必須となる株式のノウハウの
不足を感じていました。
人や情報といった多くの
経営資源をもつ銀行に
エフアイの知識が加わ
れば、もっと本質的な経
営支援ができるはず。
そう考えていた私に共感
してくれる地方銀行が現
れ、共同でファンドを設
立したことで、私もVC
業務を再始動し、いまに
至っています。

— 今後の展望は？
施設の開設や社長塾などに私
が携わるのは、起業家自身にも
会計や決算、株式の仕組み、上
場の流れなど、経営の基礎を
しっかり勉強してほしいと考え
るからです。優れた技術やアイ
デアがあっても、組織を管理す
る能力がなければ、つまずきの
大きな要因になってしまいます。
VCとして数百にのぼる企業を
見てきた知識と、起業家として
の私の経験を伝えていきたいと
考えています。
また、この数十年で日本でも
ベンチャー投資の機運は高まって
きましたが、注目度の高い産業
などに投資が偏りがちなも実
情です。目立たないけれど着実
に前に進んでいく企業に、少額
からでも投資できる仕組みづく
りが必要です。

— 創業家が
お金の工面に時間を
とられ、研究や営業が「の次」
になることがないよう、必要な人
に、必要なとき、必要な資金を
提供する「真の金融の実現」を
めざして、これからも力を尽く
していきたいと思っております。

(PROFILE)
フリーバンクキャピタル株式会社
■代表者/代表取締役社長 川分 陽二
■従業員/7名
■所在地/【本店】東京都千代田区内神田1-9-5
SF内神田ビル2階
【彦根インキュベーション施設「善」】
滋賀県彦根市堀町338番地
■設立/2013年
■事業内容/ベンチャーキャピタル業務(投資事業
組合の運営、投資、育成)
■TEL/03-3527-2235
■URL/https://freebank.co.jp



社長塾

* 社長塾
滋賀県で株式上場をめざす経営者を対象に、産業支援プラザが
2024~25年に開講する全6回の講座。川分陽二氏が塾長を務める。



元気企業 訪問

フリーバンクキャピタル 株式会社

代表取締役社長

川分 陽二さん

かわ け よ う じ



— 事業内容は？

VCの役割は、企業への投資
(出資)と、その企業の成長支
援、そして株式売却による資金
回収です。
ベンチャー企業などの未上場
企業に対して出資を行う際、主
に株式を引き受けるかたちで投
資を行います。その後、企業が
株式公開をした際に株式を売却
し、そのとき得たキャピタルゲ
イン(当初の投資額と公開後の
売却額との差額)が利益となる
仕組みです(図1)。複数の外
部の投資家から資金を調達する
ために、ベンチャーファンド(投

「必要な人に、必要なとき、必要な資金を」
地方の起業家を支援してきたVCが
滋賀に新たな拠点づくりをスタート

ベンチャーキャピタル(VC)は、投資家から資金を集め、それをベンチャー
企業などの未上場企業に対し投資する会社。投資だけでなく、企業の価値を
高めるために経営支援を行っている。東京に本拠地を置くフリーバンクキャピ
タル株式会社の代表取締役社長・川分陽二さんは、多くの企業を上場させて
きた投資家であり、自ら起業した会社を上場させた経験をもつ経営者でもあ
る。故郷の滋賀ではじめて起業の拠点づくりが、いま注目を集めている。

資事業有限責任組合)を組織し、
ゼネラル・パートナー(無限責
任組合員)として、VCが投資
の責任者となります。
投資した企業が成長しなかつ
た場合には資金回収が難しくな
るため、VCは経営支援を行
います。とくに私たちは次の10年
も共に歩むことをめざして経営
者を支え、その育成のサポート
に注力してきました。

— 起業の経緯は？

大学卒業後に株式会社住友
銀行(現・株式会社三井住友銀
行)で営業や海外勤務を経験し

たあと、日本アセアン投資(現・
日本アジア投資)株式会社に入
社しました。ここは日本企業の
ASEAN進出を金融と情報で
支援する機関で、私のベンチャー
キャピタリストとしての原点で
もあります。
いくつもの企業の上場に携わ
り、取締役にも就任しましたが、
投資の決定権が会社にある以
上、自分の思い通りの投資はで
きません。ジレンマを抱えるよ
うになり、退職して起業するこ
とを決めたのは1998年、45
歳のときです。
最初の起業の拠点は多数のベ

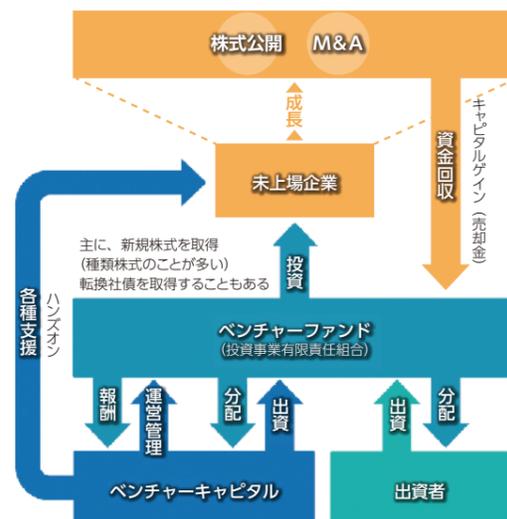


図1: ベンチャーファンドに
よる一般的な投資スキーム

問い合わせ先
(公財)滋賀県産業支援プラザ 経営支援部 経営相談室
☎ 077-511-1413 📠 077-511-1418

元気企業 訪問

株式会社 KakuKaku

代表取締役

坂本 潤哉さん

さかもと じゅんや

合同会社 mitei

代表/データサイエンティスト

井本 望夢さん

いもと みゆ



miteiによる企業での研修の様子

AIやデータサイエンスで 滋賀の中小企業のDXを支援する若き経営者

人手不足の解消や生産性の向上、業務の効率化のために、企業のDX化は避けて通ることはできない。産業支援プラザでは、DX人材の育成に補助金を交付したり研究会を開催するなど、中小企業の最新のデジタル技術の普及啓発に力を入れている。今回は、企業のDX化を支援するベンチャー企業から、株式会社KakuKaku代表取締役の坂本潤哉さんと合同会社mitei代表の井本望夢さんに、中小企業のDX化について対談していただいた。

― 起業の経緯と事業内容は？

■坂本 前職では産業機器メーカーで電子顕微鏡などの開発に携わっていました。そんなとき医師の友人から医療現場での勤務シフトの作成が大変だという話を耳にしたのです。プライベートの時間を利用して1年がかりでコツコツとプログラムを組んだところ、これなら同じくシフト調整に苦労されている介護の現場にも広く提供できると考え、2020年に起業しました。今はクラウドを介したソフトウェアの提供サービス(SaaS)のほか、生成AIを活用したシステムの開発、企業のITコンサルティングやシステムの受託開発、試作から検証、実装までを手掛けています。

― 産業支援プラザとの関わりは？

■坂本 起業にあたり創業プラザ滋賀に入居し、今もお世話になっています。2022年の法人化後は、銀行と提携して取引先のDXなどをサポートして頂きました。滋賀県DX協創サロンのパートナーも務め、プラザではものづくりIoT研究会での講師もしています。

■井本 滋賀大学には大学発ベンチャー認定制度があり、その一環としてキャンパス内の研究室に入居しています。大学とプ



企業のITコンサルティングを行うKakuKaku

選択肢を提案できます。また、ChatGPTなど使いやすく安価な生成AIサービスも増えており、それを上手く事業に取り入れることができれば費用対効果の高い効率化も可能です。



株式会社KakuKakuの坂本潤哉さん

■井本 データサイエンスというとハードルが高いと思われるがちですが、当社の場合は、課題設定からのサポート、内製化に向けたサポートなどに加え、小

― 具体的な課題解決の方法は？

■坂本 製造業などでは人材不足が慢性化しており、外国人雇用も増えています。そこでQR

回りの良さが強みです。中小企業から相談を受ける際「うち

コードやタブレットなどを活用し、わかりやすさや扱いやすさを考慮しています。また、AI

と言われるケースが多くありますが、ヒアリングをしていくと生産量や入出庫状況、勤怠など、意外と使えるデータがあります。それを引き出すために

場長など人員を管理する。大番頭。のような役割をシステムが担うことも可能というわけです。

ヒアリングを大切にしています。扱うのはデータですが、やはり

■井本 たえば倉庫の効率化を図る際には、入出庫のデータを図に落とし込みます。すると

人と人のコミュニケーションが重要ですね。

■坂本 技術や仕組みを広める勉強会などの場にも力を入れていきたいと思っています。

― それぞれの強みとは？

■井本 私もデータ分析を企業で内製化できるよう工夫を始め



合同会社miteiの井本望夢さん

■坂本 技術や仕組みを広める勉強会などの場にも力を入れていきたいと思っています。miteiさんの事業をお手伝いできることもあるかもしれ

■井本 私もデータ分析を企業で内製化できるよう工夫を始め

〈PROFILE〉
株式会社KakuKaku
■代表者/代表取締役 坂本 潤哉
■従業員/2名
■所在地/滋賀県大津市打出浜2-1
コラボしが21 4階412号
■創業/2020年
■事業内容/AIシフトロボの販売、生成AIサービスの販売、PoCエンジニアリング、コンサルティング、受託開発
■TEL/0120-96-3372
■URL/https://kakukaku.app

〈PROFILE〉
合同会社mitei
■代表者/井本 望夢
■従業員/4名
■所在地/滋賀県彦根市馬場1-1-1
(滋賀大学内)
■創業/2020年
■事業内容/データ分析の受託、データコンサル、教育、PRAの導入支援、アプリ開発
■TEL/050-3577-3101
■URL/https://www.mitei.net

せんね。

■井本 AIとデータ分析を組み合わせたワークショップなども開催し、滋賀の中小企業のDXを支援していきたいですね。

産業支援プラザでは、12月5日(木)に滋賀県立文化産業交流会館(米原市)で「集まれー若手×中堅技術者！ー生成AI×データサイエンス×協働ロボット」について考えよう」と題し、坂本さんと井本さんによるショートセミナーとパネルディスカッションを開催します。DX化の課題に対する解決策など、気さくに相談できる機会ですので、ぜひご参加ください。

問い合わせ先
(公財)滋賀県産業支援プラザ 連携推進部 イノベーション推進課
☎ 077-511-1414 ☎ 077-511-1418

* 企業のDX推進補助金
IoT機器やAIソフトウェア等の導入補助と合わせ、DX環境の構築・運用に関する「社内DX人材」の育成・強化を支援する補助金



* ものづくりIoT研究会
AIやIoTなど最新のデジタル技術の学習を目的とした県内企業を中心とした産学官連携の取組どなたでも入会可能(無料)





道路用ブロックとガードレール用基礎ブロック



元気企業 訪問

三和産業 株式会社

代表取締役

桑名 宏幸さん

くわ な ひろ ゆ き



業界に先駆け、基礎ブロックを自動製造 下水汚泥の焼却灰を活用したCO₂吸収型 コンクリート開発で持続可能な社会へ貢献

フェンスやガードレール、工事中の安全柵などを設置する際、土台となる基礎ブロック。これを主力製品とする三和産業株式会社は、1980年代に全国に先駆けて自動成形ラインを独自開発したことを皮切りとして、斬新なアイデアで数々のコンクリート製品を開発・製造・販売している。なかでも下水道の処理過程で発生する汚泥を使用したCO₂吸収型のコンクリートブロックは、持続型社会に貢献する製品として注目を集めている。

― 会社の沿革と事業内容は？

創業は1966年で、私は三代目社長に当たります。伯父が下請けとして道路用ブロックの製造を手掛けるようになったのが始まりで、はじめは敷地内の牛小屋を工場代わりにした小規模なものでした。1971年には基礎ブロックの製造販売をスタートさせ、私の父も製品のトラック輸送を請け負うようになりました。

一方、私は学校卒業後、まったく畑違いのアパレル業界で働いており、企画・営業・販売で成績を上げていました。家庭を

もつたことを機に家業に就いたのですが、土木業界は年度明けに仕事量が大きく減り、夏には運ぶブロックが何もない日もあるほど。そこで、空いた時間と前職の経験を活かして客先に営業を始めました。

通常、基礎ブロックは施工会社にとまどめて納品しますが、依頼があれば遠方でも、一つからでも届け、施工現場へ直接納品することで職人のみなさんからも手間が省けると重宝がられ、業績は伸びていきました。

― 三和産業株式会社ならではの基礎ブロックの特徴は？

施工区間の長さにあわせて敷設する道路用ブロックと異なり、フェンスなどの土台となる基礎ブロックは数メートルおきの設置となり使用量が少なく、また重量があるため輸送コストがかさむのが難点です。

そこで考えたのが製造の自動化によるコストダウンでした。専門の製造機械がなく独自開発することになりましたが、作業員一人当たりでみると従来に比べて約10倍の生産スピードを実現し、さらには強度を高めて性

され、まったく売れず…。大きな設備投資をしたこともあり困り果てていたところ、納品で親しくなった現場の職人の方々が「品質に問題はない」と使ってくださいるようになり、いまでは関西から東海、北陸にも販売網を広げています。

― CO₂吸収型コンクリートとは？

環境に配慮した製品づくりに早くから取り組み、1992年に下水道の汚泥溶融スラグを骨材として利用したコンクリートを開発しました。さらにそれを発展させ、下水汚泥の焼却灰を使用したCO₂吸収型コンクリートにも着手し、2023年に製品化しています。

一般的なコンクリートもCO₂を吸収する性質がありますが、焼却灰に含まれるシリカやアルミナが作用を促進することで通常より約1%多く吸収し、さらには効果が長期間続くことが確認できました。吸収効果については、地元の立命館大学のお力を借り、共同で検証を行っています。

― 産業支援プラザとの関わりは？

これまでも情報収集や発信について産業支援プラザにたびたび相談し、20年来のおつきあいになります。とくに2023年には太陽光発電システムの導入を検討するなかで、**省エネ診断支援事業**による専門家派遣をお願いしました。発電量のシミュレーションと電力使用量の推移を重ね合わせることで、効果的な投資規模を算定できました。

環境への取組については、2006年に滋賀LOHAS対象奨励賞、2017年にしがエコエコノミープロジェクト「しが低酸素リーダー賞」削減取組部門表彰などを受賞しており、コア事業であるコンクリート製造と、製造環境の省力化などから持続可能な社会の実現に貢献したいと考えています。

― 今後の展望は？

コンクリートは自然界から材料を調達して造ります。資源には限りがあり、同じことをしては100年後に生き残れません。そこで事業の幅を広げるため、長年携わってきた建築・



災害時、煮炊きに仕えるかまどベンチ

土木業のなかで、資材を製造・納入するだけでなく施工も手掛けられるよう建設業の認可も取得しました。

また阪神大震災で復旧に携わった経験を活かし、災害時にかまどやトイレとして転用できる野外用ベンチなども開発・販売しています。展示会にも積極的に参加し、産業支援プラザのマッチングや情報発信、技術支援を活用していければと考えています。

知識と人脈のネットワークを広げ、これまで培ってきたお客様の声を聞く力と、スピーディーな商品化で、新しいモノやコトのコーディネーターをめざしていきたいと思っています。



(PROFILE)

- 三和産業株式会社
- 代表者/代表取締役 桑名 宏幸
- 従業員/21名
- 所在地/滋賀県湖南市菩提寺2071-3
- 創業/1966年
- 設立/1979年
- 事業内容/各種基礎ブロック、小型マンホールなどのコンクリート製品、エクステリア製品、防災製品の製造販売
- TEL/0748-74-1330
- URL/http://www.sanwa-shiga.co.jp



展示会やビジネスフェアにも積極的に参加

私たちは2050年カーボンニュートラル社会実現に貢献します!

溶融亜鉛メッキ HDZT77

この製品は下水汚泥焼却灰を利用し、CO₂を積極的に吸収するCO₂吸収型コンクリート「サスクリーンコンクリートブロック」です

「NEOガードキャストブロックⅢ型」

施工性 メンテナンス性 安全性

CO₂吸収型
コンクリートブロック

問い合わせ先
(公財)滋賀県産業支援プラザ 連携推進部 CO₂ネットゼロ支援室
☎ 077-511-1424 ☎ 077-511-1418

*省エネ診断支援事業(省エネ最適化診断)
専門家が訪問し、事業所全体のエネルギー使用状況を調査・分析し、省エネ、再エネ設備の導入を助言・提案する事業





湖南省張家界にて



湖南省文化と旅遊庁尚斌副庁長と訪問団団長として会談

海外渡航の手配を通じて、 中国でのビジネスをサポート 日本と中国の架け橋に

起業家魂



ゆめらく
日中夢楽観光株式会社

代表取締役 **上松 成人**さん
うえまつ なるひと

<PROFILE>

- 日中夢楽観光株式会社
- 代表者/代表取締役 上松 成人
- 従業員/5名
- 所在地/滋賀県大津市打出浜2-1 コラボしが21 4階406号
- 創業/2022年5月
- 事業内容/旅行業、中国などのビザ・認証、航空券・ホテル・現地ガイド・通訳・現地携帯電話の手配など
- TEL/077-515-2924
- URL/https://yumeraku.jp

長年にわたり中国を主とした海外渡航手配に携わってきたメンバーが、滋賀を拠点に起業した旅行会社「日中夢楽観光株式会社」。代表の上松成人さんは30年以上の実績を生かし、ビジネスから個人まで顧客の希望に沿った旅行を企画している。大津市や滋賀県の日本中国友好協会を立ち上げて事務局を務め、両国の架け橋になるべく事業に取り組んでいる。

―事業内容は？

法人の出張手配を中心に、個人はもちろん、学校旅行や団体親睦旅行まで、お客様の希望に合わせて旅を企画しています。アウトバウンド（海外渡航）のなかでも、企業の業務渡航の手配が全体の90%を占めており、国別の取り扱いでは中国が50%、その他のアジア諸国35%、欧米15%で、社名にある通り中国を得意としています。

なかでも中国のビザ申請については、中国駐大阪総領事館が管轄内で許可を出している約25社中、滋賀県内唯一の旅行会社です。航空券やホテルの予約



中国のグッズが飾られた創業オフィス

をはじめ、出迎えや専用車、ガイド、通訳の手配、中国国内で安全に使用できる携帯電話のレンタルなども行っており、企業が中国でビジネス展開するうえで、さまざまなサポートメニューを用意しています。

―なぜ中国なのでしょう？

現在、ユネスコ世界遺産にも登録されている湖南省の張家界森林公園の風景を、映画で見て感動したことがきっかけです。

大学生のころにバックパッカーで出かけ、その旅を機に日中をつなぐ仕事がしたいと考えようになりました。

卒業後は国際物流企業・日新のグループ会社である日中平和観光株式会社就職し、そこで主に法人出張を担当していました。ところが、大阪支店長を務めていた2021年にコロナ禍の影響で事業が母体企業に吸収されることとなり、旅行業務から離れるか、退職するかを選択

を迫られました。この仕事を離れることは考えられず、退職を選んだのですが、実はこのとき自分が起業するとは夢にも思っていないませんでした。

―産業支援プラザとの関わりは？

退職したとはいえ、長年おつきあいのあるお客様が困られないよう、退職後も知り合いの旅行会社に籍を借りて引き続き手配などは行っていました。

その一方で再就職のために職業安定所にも通っていたところ、職員の方に「せっかく顧客が付いているのだから起業しては？」と勧められ、その道もあるのか

と思い至った次第です。そこで紹介されたのが産業支援プラザの**創業プラザ滋賀**でした。インキュベーション・マネージャーからも、実績やビジネスモデルを評価いただき、創業オフィスへ入居後、2022年5月に起業しました。

ただ、旅行業務の経験はあるものの、経営面はまったくの素人です。セミナーでアドバイスを受けて会社運営について学んだほか、日本と中国で会社名を商標登録するよう支援を受けました。また、サポートのもとで大津市創業事業補助金も取得できました。

―日中夢楽観光株式会社の強みとは？

コロナ禍の最中に旅行会社を起業したのは一見すると無謀に思われるかもしれませんが、中国への渡航危機はこれまでも鳥インフルエンザやSARSなど度々あり、経験上、渡航が3カ月止まっても翌月からは法人出張は動き始めるだろうと予測していました。結局、回復には3年かかりましたが、欧米旅行を扱う会社よりも私たちは落ち着いて状況を見ていたといえます。2021年初頭に国際航空運輸協会が出したレポートにも2024年には完全回復の見込みとあり、あまり先行きは悲観せず、本格的に回復した際、お客様にご不便をかけないよう準備を整えていました。

―現在の事業内容は？

従来の顧客は大阪や京都、名古屋、東京など都市部が多いのですが、滋賀に同業他社がほとんどないことはもう一つの強みです。2023年には滋賀県と湖南省の友好提携40周年記念訪中団の事業を落札できました。滋賀県には中国に生産拠点を置く企業も多く、問い合わせや相談も寄せられるようになってきました。

また業務とは別に2022年に大津市日本中国友好協会を立ち上げ、事務局長を務めています。2025年初めには他地域

―今後の展望は？

滋賀に居ながらリモートで遠方のお客様の対応ができるのは、この仕事の利点ではありませんが、私はできるだけ対面サービスを大切にし、お客様の困りごとに寄り添いたいと考えています。その点、創業オフィスのあるコラボしが21は商工会議所などもあり、何かのついでに気軽に立ち寄っていただくことができます。

この春には大阪オフィスも構え、将来的には東京にも接客の拠点を設けたいと考えています。幸い応援してくださいる方も多く、創業時には「プラザ始まって以来」というほどたくさんのお祝い花が届き、小さなオフィスブースが花で埋もれました。その声に感謝し、応えていけるよう、これからも仕事に誠実に、丁寧なサービスを心掛けていきたいと思っています。

問い合わせ先
(公財)滋賀県産業支援プラザ 経営支援部 創業支援課
☎077-511-1412 ☎077-511-1418

* 創業プラザ滋賀(創業オフィス)
インキュベーション・マネージャー等の専門家による各種支援を組み合わせ、継続的に支援を実施している。(4つの異なるインキュベーション施設があり、創業オフィスは新事業創出に挑戦する方向のオフィス)



両利きの経営とは？

新規事業への挑戦と 既存事業の強化の 両輪で競争力を生む！

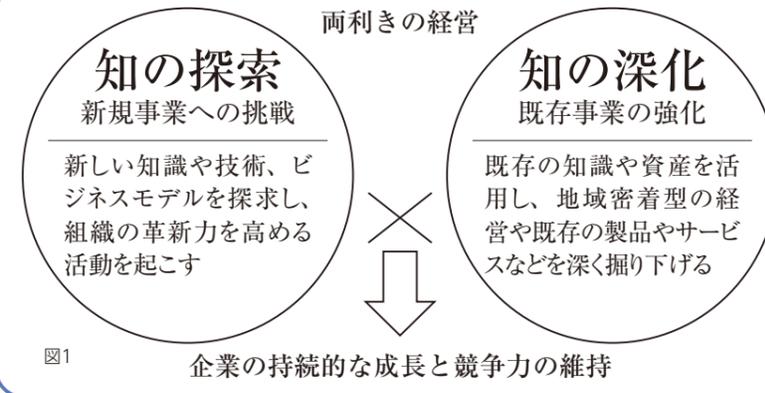
社会の変化のスピードが速く、技術や規制、消費者の嗜好の変化が加速している現代において、注目を集める「両利きの経営」。既存事業を強化しつつ、新規事業を開拓し、その両方をバランスよく行うことで変化に適応するというこの経営理念は、米スタンフォード大学のオライリー教授らによって提唱されたものです。実践する企業が増える中、両利きの経営とは何か、また取り組み方について、中小企業診断士でミナト経営株式会社代表取締役の田内孝宜さんに聞きました。



ミナト経営株式会社 代表取締役
中小企業診断士 田内 孝宜 さん
たうち たかのぶ

両利きの経営とは何ですか？

企業が持続的に成長し、競争力を維持するために、「**知の探索**」と「**知の深化**」という2つの異なる方向性の戦略を同時に追求することを指します(図1)。探索に偏ればリスクが高まり、既存の収益源が犠牲になる可能性があり、深化に偏れば革新が停滞して競争力が失われるリスクがあるため、バランスが重要です。



両利きの経営が求められる背景は？

- ① 技術革新の加速：デジタルの進化は産業構造を根本的に変えており、新しい技術を探求し、既存の事業に新技術を組み込めるかが企業の競争力を左右します。
- ② グローバル化の進展：世界市場での競争が激化する中、グローバルな視点で市場と顧客を探求すると同時に、各地域の特性に合わせた深化も重要です。
- ③ 顧客ニーズの多様化と変化：価値観が多様化する中では、新市場や製品カテゴリーの探索に加え、既存の顧客への理解と、満足度の向上も鍵となります。
- ④ 競争環境の激化：他社との差別化が難しい状況下で、新製品等で市場に先行する必要がある一方、既存事業の強化で持続的な収益を確保することも大切です。
- ⑤ 環境問題と社会的責任：再生可能エネルギーへのシフトなど新たなビジネスモデルの探索と、現行の業務プロセスの最適化を同時に進める必要があります。
- ⑥ 不確実性の増大：パンデミックや紛争、貿易摩擦など、未知のリスクに対応するために新たな可能性を探りつつ、安定的な事業運営を維持することが必要です。
- ⑦ ライフサイクルの短縮：短期間で新製品の市場投入が求められる中、新領域での探索活動と、既存製品の改善や効率化が必要になります。
- ⑧ 組織の柔軟性とイノベーション文化の必要性：急激な変化に対応するためには、組織が柔軟であり、かつイノベーションを促進する企業文化が求められます。変化の激しいビジネス環境では、単一のアプローチでの成功は難しく、複眼の視点をもつ両利きの経営が必要になるといえるでしょう。



滋賀で両利きの経営を
実践する場合、留意すべき点は？

- ① 地元産業の深化と新しい産業の探索
滋賀県は製造業が強い地域です。地元企業が持つ技術力や製造ノウハウを深化させると同時に、琵琶湖という資源を生かした環境技術や観光産業の拡大など、新たな方向性を探索し、県外からの投資やビジネス機会を創出する必要があります。
- ② 地域密着型の経営とグローバルな視野の両立
地元産物を活用した加工品の開発や、地域社会との連携による福祉・医療サービスなど、地域に根ざした経営を強化する一方、輸出や海外企業との技術提携といった市場機会の探索が求められます。
- ③ 環境と持続可能性の重視
地元産業においても環境に配慮した技術やプロセスの深化は不可欠であり、再生可能エネルギーやエコツーリズムなど環境に関連する事業機会の探索も必要です。
- ④ 人口減少と高齢化への対応
企業や自治体が協力して地域コミュニティを強化し、高齢者向けのサービスなどを深化させる一方、高齢化を見据えたサービスモデルの探索として、遠隔医療やシニア向け商品などの開発が挙げられます。
- ⑤ 観光と地域ブランディング
歴史的な観光地や文化的資源の多い滋賀の利点を生かした観光産業を強化すること。また、エコツーリズムやスポーツ観光、特産品を生かした観光プログラムの開発など、新しい観光資源や体験型の観光モデルを探索することも重要です。



両利きの経営の実践例は？

東近江で特殊なウレタン加工を行う近江化成工業株式会社の事例を紹介します。通気性や耐久性に優れたクッション材は新幹線や自動車シート等に採用され、環境に配慮した製品など従来技術を深化させる一方で、B to BからB to Cに市場を広げようとECサイトを立ち上げました。一般顧客に向けて枕やクッションなど健康に配慮した高機能商品を販売し、新たな顧客の探索を行っています。

どういったところから始めればよいか？

まずは現状を把握するために自社や地域の「強みと弱み」の分析が重要です。また国内外・地域の市場を調査し、どの分野で知の探索と深化を進めるべきか見極め、地元経済や社会動向から知の深化にも役立てます。とくにイノベーションを促進するためには、社員の意識改革や教育が重要です。社員の挑戦を奨励する文化を醸成するため、段階を踏んだ**チームビルディング**(図2)が重要になります。

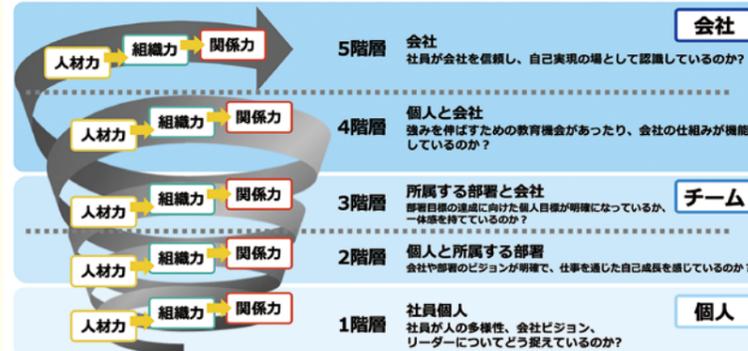


図2：組織の力をスパイラルアップするチームビルディング

今後、滋賀の経済の
活性化に必要なことは？

短期的には観光促進と地域ブランディングの強化や中小企業の支援、新規事業のインキュベーションが求められます。長期的には環境や農業、食などの持続可能な産業基盤の整備や人材育成、地域インフラの強化などが必要となるでしょう。企業はそれらの動きを把握し、情報を集めて両利きの経営に生かす必要があります。産業支援プラザでは、中小企業のサポートとして新技術やデジタル化の支援、マーケティング/ブランディング支援、組織活性化支援などを実施しており、それらの有効活用をお勧めします。

ミナト経営株式会社

滋賀を拠点に各地で経営コンサルティングに取り組み、組織診断や企業研修を実施するほか、ミナト経営塾を主宰し、経営者をサポートしています。

問い合わせ先
(公財)滋賀県産業支援プラザ 経営支援部 経営相談室
☎ 077-511-1413 📠 077-511-1418



しがのミカタ

滋賀県信用保証協会

滋賀県のさまざまな中小企業支援機関を紹介する「しがのミカタ」。今回は、今年2024年に設立75年を迎えた滋賀県信用保証協会を紹介します。

理事長 **西嶋 栄治** さん
にしじま えいじ

中小企業の事業資金を保証人となって支え 課題の解決や経営再生、創業を伴走型でサポート



信用保証協会とは？

公的な保証人の立場で中小企業や小規模事業者の発展に貢献する機関です。1937年に東京で創設され、滋賀県では1949年に設立されました。1953年に信用保証協会法が制定され、これに基づく認可法人として現在の体制が確立されています。

一般的な保証人の立場で中小企業が抱える課題に対して、各機関の衆知を集めて効果的に課題解決にあたるよう、月に1回会議を開催。11月には中小企業の幅広い経営課題を解決するために4機関連携経営相談会を開催する予定です。この連携により、収益力の改善と販路・売上拡大、事業承継のすべてを短期間で効率的に行えた好事例もあり、全国に先駆けした取り組みを行っています。

滋賀の中小企業とどのように関わっているのでしょうか？
まず、信用保証の仕組みは図1の通りです。

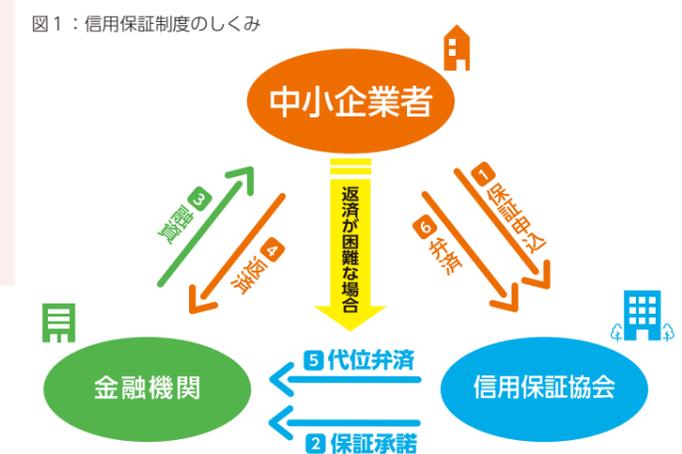


図1：信用保証制度のしくみ

信用保証協会とは、中小企業が事業に必要なお金を金融機関から借りる際、その保証人となって融資を受けやすくなるようサポートする公的機関です。
全国に51団体あるなかで、先進的な取り組みを推し進めていることでも注目される滋賀県信用保証協会の事業について、西嶋栄治理事長にお話を聞きました。

どを留意しています。ほかに、危機発生時や事業再生の局面など、状況に合わせた保証支援を行っています。

もう一つの事業である経営支援とは？

経営課題を抱えている企業に対し、中小企業診断士などの外部専門家を派遣し、経営診断と改善計画の策定、フォローアップなどを実施しています。また、協会が事務局となって、早期の経営改善や再生を図ることを目的に、金融機関を含めた「経営サポート会議」も開催しています。

創業支援については、大津商工会議所と共同で年6回の創業者向けセミナーなどを開いているほか、事業承継に関する支援にも力を入れています。

ほかの機関との連携は？

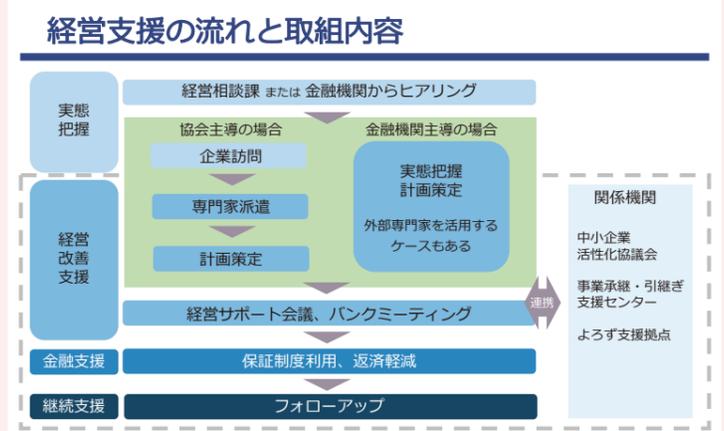
産業支援プラザが事務局となつて発足した「滋賀創業サポートネットワーク」に参画しているほか、当協会を事務局として、プラザの事業の一つである滋賀県よろず支援拠点と、滋賀県中小企業活性化協議会、滋賀県事業承継・引継ぎ支援センターの

4機関連携も進めています。中小企業が抱える課題に対して、各機関の衆知を集めて効果的に課題解決にあたるよう、月に1回会議を開催。11月には中小企業の幅広い経営課題を解決するために4機関連携経営相談会を開催する予定です。この連携により、収益力の改善と販路・売上拡大、事業承継のすべてを短期間で効率的に行えた好事例もあり、全国に先駆けした取り組みを行っています。

近年の特徴的な取り組みは？

「コロナ禍の2020年度には保証申し込みが殺到しました。限られた人員のなかで夜間休日問わず保証対応を行った結果、保証承諾額は例年の約4倍に当たる3,600億円を超える実績となり、県内経済におけるセーフティネットの機能を発揮することができました。現在は状況を注視しながら徐々に平時に戻しているよう取り組みを進めています。

また、持続可能な社会の実現に向けて取り組みを進める企業を対象に、当協会が創設した「SDGs保証」は高く評価され、



「経営相談チーム」を設置。今年度にはチームを「経営相談課」として格上げし、伴走型の経営支援に注力しています。
また、ダイバーシティ経営の一環として滋賀県女性活躍推進企業「三つ星」認証の取得を目指しています。職員全員が自分らしく安心して働ける職場とすることで、中小企業へのさらなる支援として還元していきたいと考えています。

これまでの「縁の下の力持ち」として舞台上にあまり登場してきませんでしたが、協会に求められる役割が変わりつつあるなか、事業を広く知っていただく機会を設け、メインプレーヤーとして、経営支援・再生支援に取り組んでいきたいと考えています。
全国51協会の中で、小さくともきらりと光るよう、また、常にフロントランナーを目標とする気概にあふれた組織を目指しています。「真に求められる存在へ、企業に寄り添い、共に歩む」をキーワードに、滋賀の経済の発展に貢献できるようにチャレンジを続けたいと思います。
地域経済の主役は中小企業のみなさんです。さまざまな課題を抱えておられると思いますが、常に前を向いて頑張ってください。頑張る中小企業を、私たち信用保証協会は一杯支援していきます。

問い合わせ先
滋賀県信用保証協会 所在地/滋賀県大津市打出浜2-1 コラボしが21 7階・8階
☎ 077-511-1300 URL <https://www.cgc-shiga.or.jp>

北部地域振興

1日産業支援プラザを開催します！

中小企業の幅広い課題解決や、日頃接点を構築しづらい県北部の方々にプラザの支援事業を知っていただくきっかけ作りを目的とした**1日産業支援プラザ**を実施します。プラザ内の各部署が、セミナー、個別相談会、パネル展示を開催します。総合窓口でご要望に応じた適切な支援事業や担当者を紹介いたします。皆様のお越しをお待ちしています！

当日参加可！

日時 2024年12月5日(木) 9:30~17:00
場所 滋賀県立文化産業交流会館(米原市下多良2-137)
内容 創業、販路開拓、技術開発、脱炭素等の経営全般に関する各種セミナー、個別相談会、パネル展示

当日開催するイベント一覧

時間帯	標 題	内 容
12:00~	セレモニー	挨拶 滋賀県産業支援プラザ 理事長 高橋 祥二郎

セミナー

10:00 ▼ 11:45	ものづくりIoT研究会 「集まれ!若手~中堅技術者!」 ~生成AI×データサイエンス×協働 ロボットについて考えよう~	専門家によるショートセミナーとパネルディスカッションを通じて、中小企業が取り組むべき話題のデジタル技術(生成AI、データ分析、協働ロボット)について学ぶことができるセミナーです。
10:00 ▼ 12:00	スマホで実践! 手元動画の撮影術	チラシ・SNSに掲載するキラリと光る宣伝動画の撮影テクニックについて、講座と撮影ワークを交えて学ぶことができるセミナーです。
13:30 ▼ 16:30	サプライチェーンにおける CO ₂ 削減取組普及セミナー	「企業価値の向上」「コスト削減」につながるCO ₂ 削減に関するトレンドや、他社の面白い取組事例を紹介するセミナーです。
13:30 ▼ 16:30	副業人材&高度外国人材 活用セミナー	労働人口減少の中での人材確保、時代の先読み、企業の持続性について、具体例を紹介しながら人材戦略を考えることができるセミナーです。

個別相談会

9:30 ▼ 16:00	よろず支援拠点 経営の様々な課題を個別相談会で解決!	SNS活用・ホームページに関わる相談に対応します。
10:45 ▼ 15:30	経営相談室 出張相談会	新たにビジネスをお考えの方、企業経営でお悩みの方の相談に対応します。
12:15 ▼ 15:15	下請かけこみ寺 出張相談会	個人を含む事業者間の下請取引等で発生した問題に関わる相談に対応します。
16:30 ▼ 17:00	副業人材&高度外国人材 個別相談会	労働人口減少の中での人材確保に関わる相談に対応します。

展示

13:00 ▼ 16:00	滋賀・三重・岐阜 モノづくり商談会 inSHIGA	滋賀・三重・岐阜内の中小企業の受注機会を増大や新規取引先の開拓を目的に、各県の中小企業支援機関が連携して開催する商談会への参加企業のパネル展示をします。
---------------------	------------------------------	--



※ 右のQR(二次元コード)より、上記の各イベントへの事前申し込みができます。
 (個別相談会は、できる限り前日までの申し込みをお願いします。)

◆ 問い合わせ先: 総務企画部 情報企画課 ☎077-511-1411



北部マーケットを開催します！

北部地域の事業者や起業を目指す方々が、出店やワークショップ等を開催します。皆様のお越しをお待ちしています！



日時 2024年11月23日(土・祝) 10:30~15:30
場所 えきまちテラス長浜(長浜市北船町3-24)
内容 ハンドメイド作品・雑貨販売・手作りパンなどの出店、ドライフラワー・ヘアアクセサリー・オーナメント作り等のワークショップ、eスポーツ体験、キッズコーナー(輪投げ、かるた)、農産物の販売 等

詳細はこちら!



◆ 問い合わせ先: 経営支援部 創業支援課 ☎077-511-1412

競争的外部研究開発資金の獲得支援 (Go-Tech 事業 他)

国・県等の補助金を活用して研究開発を加速しませんか!

中小企業が主体となり大きな費用を要する研究開発を行うためには、経済産業省「Go-Tech事業^{*}」による補助金活用が効果的です。補助金の申請から採択後の事業管理・事業化支援まで、プラザのコーディネータが**伴走支援**します!



※**成長型中小企業等研究開発支援事業 (Go-Tech事業)**…中小企業者が精密加工、表面処理等のものづくり基盤及びサービスの高度化を図ることを目的として、大学・公設試等と連携して行う研究開発や試作品開発、その成果の販路開拓に係る取組等を一貫して支援する制度です。3年間で最大約1億円の研究開発資金を受けられます。

* 令和6年度 プラザの実績 * 研究開発案件10件申請中、**10件全て採択**(全国の事業管理機関別 **第1位**)
 (参考: 全国230件申請中、115件採択(採択率50%))

令和6年度Go-Tech事業 プラザの申請支援による採択案件

主たる中小企業者名	研究開発計画名
日伸工業株式会社	極小径鉗子のプレス化及び組立技術開発による患者負担軽減を実現する医療機器の開発
近畿精工株式会社	貫通型横孔マイクロニードルアレイ製造のための微細精密加工の研究開発
ヘイシンテクノベルク株式会社	省力化と省エネを実現する次世代食品用一軸偏心ねじポンプ装置の開発
高橋金属株式会社	固体酸化物形燃料電池(SOFC)の高効率な発電を実現する都市ガス改質用過熱蒸気生成気化器の開発
株式会社 ACTYPower	間隔調整機能を有した骨融合が可能な脊柱管狭窄症治療用インプラントの開発
Patentix 株式会社	世界初の次世代半導体 二酸化ゲルマニウムの実用化に向けたバルク結晶開発
株式会社アイ・エス・ティ	高機能化した透明ポリイミドフィルムを用いた高耐熱・高性能ペロブスカイト太陽電池の研究開発
株式会社フロンティアファーマ	ミトコンドリア機能の見える化によるiPS細胞の次世代標準の品質評価技術の開発
株式会社アイテス	“第三世代”SiCの無転位化に向けての開発を劇的に加速させる intelligent 解析技術の開発
株式会社レイマック	歩行と循環からセルフケアを支援する見守り BAN ユニット (BAN インソール) の開発

令和7年度 Go-Tech事業に向けた「申請セミナー&個別相談会」

自社のコア技術の理解や川下ニーズの把握、研究開発内容のブラッシュアップ方法など、申請に必要な知識と準備について説明します。また、個別相談会を実施し、申請に向けた支援をします。

日時 2024年11月27日(水) 13:00~16:10

場所 大津市打出浜2-1 コラボしが21 3階 中会議室1

内容

- 講演「令和7年度のGo-Tech事業について」
近畿経済産業局 地域経済部 産業技術課 ものづくり支援係長 村尾 崇実 氏
- 講演「Go-Tech申請の準備について」
独立行政法人中小企業基盤整備機構 近畿本部 中小企業アドバイザー 虫鹿 由浩 氏
- 個別相談会(1社30分)
独立行政法人中小企業基盤整備機構 近畿本部 中小企業アドバイザー 虫鹿 由浩 氏、岡本 昌也 氏

参加費無料!



上記Go-Tech事業以外にも、県の研究開発補助金などの申請支援も行っています。また、事業化支援として、展示会への出展、国等の表彰制度への推薦なども行っています。どのような内容でもお気軽にご相談ください。コーディネータが丁寧に説明します。



◆ 問い合わせ先: 連携推進部 イノベーション推進課 ☎077-511-1414



開催予定日	イベント・セミナー名/会場	概要/対象	担当課
11月 1日(金)～ 12月 6日(金)	滋賀の技術紹介!「機械要素技術展2024 大阪」 出展企業による展示会 ◆会場: コラボしが21 1階 展示コーナーGALLERY	10月にインテックス大阪で開催された「機械要素技術展2024 大阪」に出展した県内企業6社のイチオシ技術を展示します。 ◆対象: どなたでも	イノベーション推進課
11月 5日(火)	ブランドの創り方 ◆会場: コラボしが21 3階 中会議室2	ブランディングの事例と構築方法について分かりやすくお伝えします。 ◆対象: 県内の事業者	よろず支援拠点
11月 5日(火) 2025年 1月 9日(木) 3月 7日(金)	プレゼンカアップ! ピッチ交流会 (全3回) ◆会場: コラボしが21 1階 BizBaseコラボ21	事業紹介スキルと発信力の向上や、県内事業者の相互の親睦等を目的とした交流会です。 ◆対象: 県内の事業者	創業支援課
11月 11日(月)	株式上場を目指す社長塾/オープンセミナー 「スローガンの作り方、言葉にすることの大切さ」 ◆会場: コワーキングスペース彦根「善」(彦根市)	起業家が、自身の「志」を社員やステークホルダーに伝えるためのスローガンの作り方について、実例を交えながら学ぶことができるセミナーです。 ◆対象: 起業家	経営相談室
11月 12日(火)	アントレプレナー養成講座「WEBスキルがなくてもできる!「SEO対策」で理想のお客様とつながる導線作り」 ◆会場: コラボしが21 1階 BizBaseコラボ21	ターゲットとなる顧客につなげるためのキーワードの探し方やSEOの基礎を学ぶことができる講座です。 ◆対象: 県内の事業者	創業支援課
11月23日(土・祝)	北部マーケット ◆会場: えきまちテラス長浜 (長浜市)	北部地域の事業者と起業を目指す方々等がマーケットを開催します。さまざまな出店がありますので、ぜひご来場ください。(本誌P15をご覧ください) ◆対象: どなたでも	創業支援課
11月 26日(火)	アントレプレナー養成ミニセミナー 「Googleフォーム」～申し込みフォーム基礎～ ◆会場: コラボしが21 1階 BizBaseコラボ21	起業家による情報シェアとGoogleフォームによる申し込みフォームの作り方の基礎について、学ぶことができるセミナーです。 ◆対象: 県内の事業者、起業準備中の方	創業支援課
11月 26日(火) 12月 12日(木) 2025年 1月 22日(水)	令和6年度コストダウンにつながる省エネ再エネ研修会 (第2、3、4回) ◆会場: コラボしが21 3階 中会議室	中小企業に役立つ脱炭素やコスト低減に寄与する省エネの取り組みや事例について、学ぶことができる研修会です。 ◆対象: 県内の中小企業のエネルギー担当者	CO2ネットゼロ支援室
11月 27日(水)	Go-Tech申請セミナー ◆会場: コラボしが21 3階 中会議室1	経済産業省の中小製造業を対象とした補助金 (Go-Tech事業: 成長型中小企業等研究開発支援事業) の申請に向けたセミナーです。 ◆対象: Go-Tech事業への申請を検討している企業	イノベーション推進課
12月 5日(木)	1日産業支援プラザ ◆会場: 滋賀県立文化産業交流会館 (米原市)	中小企業の幅広い課題解決や、日頃接点を構築しづらい県北部の方々にプラザの支援事業を知っていただくきっかけ作りを目的に、セミナー、個別相談会、パネル展示をします。(本誌P15をご覧ください) ◆対象: どなたでも	滋賀県産業支援プラザの各部署
12月 10日(火)	アントレプレナー養成講座「売れてる人がやっている「今さら聞けないプレスリリース基礎」～取材依頼が来やすくなるポイント～ ◆会場: コラボしが21 1階 BizBaseコラボ21	プレスリリースの基礎を知り、事業紹介のコツと周知活動のレベルを上げることができる講座です。 ◆対象: 県内の事業者	創業支援課
12月 12日(木)	事業のミライを考える「アツギ支援セミナー×アツギ・経営者たちの交流会」 ◆会場: 旧大津公会堂 (大津市)	後継者がコロナ禍という逆境をどう乗り越え、既存の資源を生かしながらどう運営したか等について、実例を交えてお話しします。 ◆対象: 県内の中小企業等の後継者(候補)、代表者、若手経営者等	よろず支援拠点
12月 17日(火) 2025年 2月 4日(火)	課題を一緒に解決! プレゼン発表会 (全2回) ◆会場: コラボしが21 1階 BizBaseコラボ21	希望者(創業プラザ滋賀、BizBaseコラボ21の利用者等)による事業紹介や課題等のプレゼン、およびワールドカフェ方式での質疑・提案を行います。 ◆対象: 県内の事業者	創業支援課
2025年 1月 16日(木)	第2回医療機器開発セミナー 「(仮)在宅看護のこれから」 ◆会場: 滋賀医科大学 (大津市)	新たな医療機器開発に意欲的な企業を対象に、滋賀医科大学の医師等から医療機器開発のための実践的な知識を学ぶことができるセミナーです。 ◆対象: 「しがオープンイノベーションフォーラム」会員(当日入会可)	イノベーション推進課
1月 21日(火)	アントレプレナー養成講座「知っておきたい権利の基礎講座」～著作権・商標権・意匠権～ ◆会場: コラボしが21 1階 BizBaseコラボ21	著作権・商標権・意匠権の基礎知識を学び、トラブル回避やスムーズな活動に生かすことができる講座です。 ◆対象: 県内の事業者	創業支援課
1月 28日(火)	アントレプレナー養成講座「ワンランク上のホームページを作るための10のポイント!」～最初につまずきそうなお悩みをマルッと解決～ ◆会場: コラボしが21 1階 BizBaseコラボ21	ワンランク上のホームページを作るために押さえておくべきポイント、制作者の選び方、制作の流れ等、基本のキホンを業者サイドのホンネも含めてお伝えします。 ◆対象: 県内の事業者	創業支援課
1月 29日(水) 2月 13日(木)	経営者・幹部層向け講座 (2日間コース) ◆会場: コラボしが21 3階 中会議室	QCDF (品質・コスト・納期・柔軟性)、生産管理、品質管理等は、自社の組織能力の向上や競争力強化につながります。これらの「ものづくりの体系的な理解」を深めるために、2つの講義とワークショップを行う講座です。 ◆対象: 県内の中小企業等の経営者・経営者層またはその候補となる者	しが産業生産性向上経営改善センター
2月 13日(木) 2月 14日(金)	関西・四国合同広域商談会 (全2回) ◆会場: 京都パルスプラザ (京都市)	関西・四国・鳥取県内の中小企業の受注機会の増大や新規取引先の開拓を目的に、各府県の中小企業支援機関が連携して商談会を開催します。 ◆対象: 関西・四国・鳥取県の受注側の中小企業	販路開拓課
2月 18日(火) 2月または3月	アントレプレナー養成ミニセミナー 「生成AIの基礎」(全2回) ◆会場: コラボしが21 1階 BizBaseコラボ21	起業家による情報シェア、生成AIで何ができるか、質問のコツ、事例紹介、補助金申請での活用方法を学ぶことができるセミナーです。 ◆対象: 県内の事業者	創業支援課
3月	ものづくりIoT研究会 第2回定例会 ◆会場: コラボしが21 3階 大会議室	話題のデジタル技術等を学ぶことができる研究会です。 ◆対象: 「ものづくりIoT研究会」会員(当日入会可)	イノベーション推進課
3月	第2回オープンイノベーション推進シンポジウム ◆会場: コラボしが21	オープンイノベーションを通じて新技術・新製品の開発をリードする企業や講師により、企業のイノベーション促進を後押しするシンポジウムです。 ◆対象: どなたでも	イノベーション推進課

